

令和6年度外部評価会 集計表(農業者用)

所属名: 大隅地域振興局 農政普及課

課題名⑤		サツマイモ基腐病対策によるさつまいもの生産安定				
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	4	3			
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者, 地区)の選定は適切であるか	3	4			
活動体制・活動 方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	6	1			
	④活動(活動方法, 時期, 手段)は適切であるか	3	4			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	3	4			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	4	3			
活動の 波及性 と改善	⑦他の課題や他農業者, 地域への波及性があるか	2	5			
	⑧結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	3	4			
全体的な意見・提言等		・基腐れ病で苦勞される方が多かったので薬剤散布等で改善できて良かったと思う(土橋)				

令和6年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名：大隅地域振興局 農政普及課

課題名⑤	サツマイモ基腐病対策によるさつまいもの生産安定					
	項目	評価の視点	評価結果(人)			意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等
			適当	概ね適当	要改善	
課題の設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	8	0			
対象の選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	7	1			
活動体制・活動方法	③関係機関と連携して活動しているか	7	1			
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	4	4			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	4	4			
活動の成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	6	2			
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	4	4			
活動の波及性と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	6	2			
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	5	3			
全体的な意見・提言等		<div>・PTを軸に関係市町・団体と連携した取組を行っている、発生率も年々下がり取組の成果が見えている状況であり良い(鹿屋市農政課)</div> <div>・十分な成果が得られている一方、焼酎用いもとの兼ね合い、JAでん粉工場の運営等の視点でもJAと協議されることを望みます(鹿屋市畜産課)</div> <div>・多くの関係機関を巻き込んだ活動で多くの方々に共感してもらえる課題である、薬剤に頼らざるをえないことは発表としては残念、滑舌がいまいちで聞き取りづらかった(肝付町畜産課)</div> <div>・蒸熱消毒処理など健全苗の確保は必要な課題である、土壌感染防止は必用だが土壌づくりについても実証実験をおこなってほしい。</div> <div>(対応等)</div> <div>・焼酎工場、澱粉工場ともにPTのメンバーであり、基腐病対策の情報共有を行い、連携をとっている。</div> <div>・健全苗確保対策の土壌作りとしては、残渣の除去、すき込み等が残さない対策として有効であり、育苗指導の中で啓発を行なっている。</div>				

# サツマイモ基腐病対策による さつまいもの生産安定

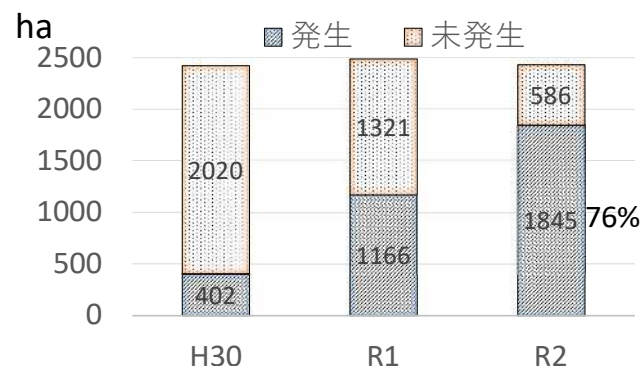


大隅地域振興局  
農政普及課

1

## 1 課題を取り上げた背景

肝属地域のサツマイモ基腐病の発生面積



さつまいも生産実績の推移 (ha, t, kg/10a)

	H30	R1	R2
作付面積	2,422	2,487	2,411
生産量	51,489	56,444	46,097
単収	2,126	2,270	1,912

3

- 1 課題を取り上げた背景
- 2 取り組んだ内容
- 3 取り組んだ成果
- 4 今後の課題

2

## 大隅地域サツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム

(令和2年11月設置)

市町, JA, でん粉工場, 酒造メーカー, 農高, 農委, 地域振興公社, 生産者, 県(振興局, 農業開発C), 国(農研機構)等



4

## 2 取り組んだ内容

### (1) 情報伝達の再構築

- ①各種講習会の活用
- ②インターネットメールでの情報提供
- ②LINEのオープンチャットの活用

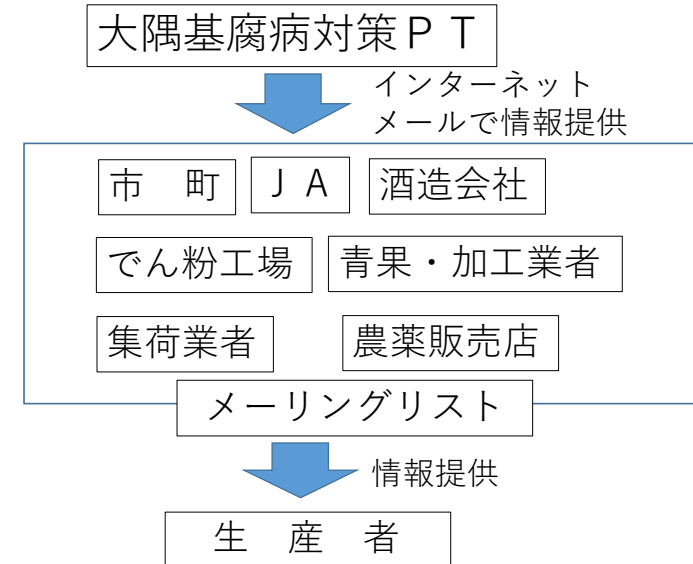
### (2) 土壌感染を防止できる薬剤の体系防除の実証

### (3) 健全苗の確保

- ①地域の蒸熱消毒処理装置を活用した消毒の実施
- (2)鹿屋農業高校でのバイオ苗生産

### (1) 情報伝達の再構築

#### ②インターネットメールでの情報提供



5

7

### (1) 情報伝達の再構築

#### ①各種講習会の活用

基腐病対策が生産者まで  
周知されない



関係機関・団体と連携し、  
の生産者が集まるあらゆる  
機会に講習会等を実施



吾平町での講習

栽培講習会, 研修会  
令和6年4月～ 23回 のべ394人の農家が参加

### (1) 情報伝達の再構築

#### ③LINEオープンチャットの活用 令和5年度に立ち上げ。 最新の情報の提供, 会員相互の 情報交換等を行なう。 R7.1.27時点登録者数

293名

LINEのオープンチャット  
サツマイモ基腐病を克服した新時代を  
～New Genesis～  
立ち上げました。



このQRコードで参加できます

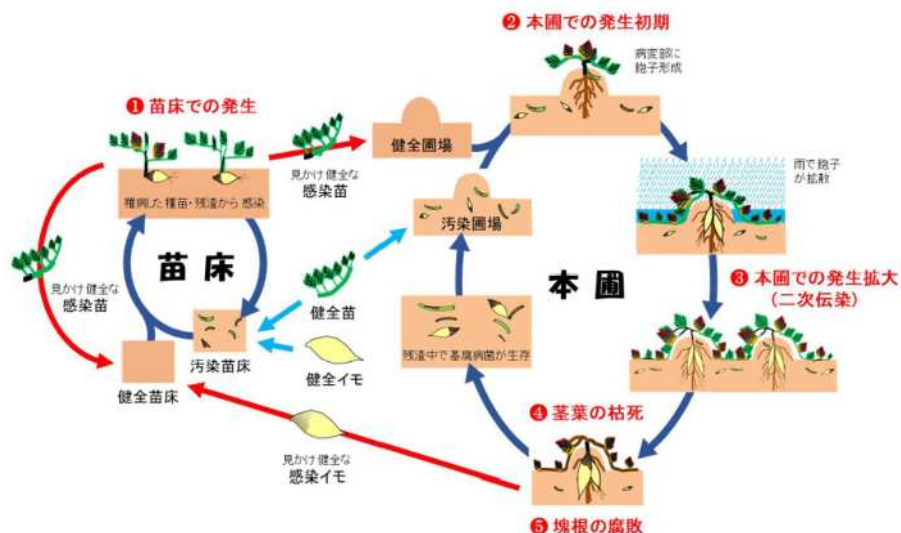


オープンチャット

8



## (2) 土壌感染を防止できる薬剤の体系防除の実証



3 ない対策を総合的に行うことが重要  
「持ち込まない」「増やさない」「残さない」

## (2) 土壌感染を防止できる薬剤の体系防除の実証

### 薬剤防除体系

植付からの経過週	畝立前 (植付前日 4/3)	フリントフロアブル 全面処理土壌混和
	植付時 (4/1)	ベンレート水和剤 苗全部浸漬
	3週間後 (4/27)	フロンサイドSC 通路を中心に散布
	6週間後 (5/16)	フロンサイドSC 通路を中心に散布
	9週間後 (6/5)	トリフミン水和剤
	12週間後 (6/23)	ICボルドー66D
	14週間後 (7/11)	ICボルドー66D
	18週間後、台風通過後 (8/10, 8/9)	トリフミン水和剤

### 期待される成果

フリントフロアブル25,  
ベンレート水和剤による  
一次伝染抑制

↓

フロンサイドSC  
による二次伝染抑制

↓

トリフミン水和剤,  
ICボルドー66D  
による梅雨期、夏期を  
通じた二次伝染抑制

↓

貯蔵イモの腐敗抑制

↓

基腐病抑制による  
さつまいもの安定生産

## 実証結果

(目的) 発生状況に応じた薬剤散布を行ない、基腐病の発生程度、収量性を調査する。

(供試品種) コガネセンガン

(前作の発生程度) 微発生

(耕種概要) 5月22日定植 収量調査: 10月16日

(区の設定) 実証区: フリントフロアブル+フロンサイドSC  
対象区: - +フロンサイドSC

発病株率の推移		調査時期	単位%
区名	30日後	60日後	収穫直前
実証区	0	0	4
対象区	0	0	6

収量調査		単位kg/10a, %
区名	収量	発病塊根率
実証区	2,922	0
対象区	2,511	0

## (3) 健全苗の確保

### ①地域の蒸熱消毒処理装置を活用した消毒の実施

- R5からJA鹿児島もつき
- R6からジャパポテト,
- 八千代伝酒造で実施
- ・さつまいもPTで検討
- ・市町: 周知, とりまとめ
- ・事務局: 実施方法検討, 事業者との調整
- ・さつまいもPTで搬入, 搬出受付
- ・消毒後の保管の留意点の配布, 説明



ジャポポテト実施状況

令和6年産蒸熱消毒実績		
実施事業者	実施 ケース数	主な市町
Japan potato	342	鹿屋市, 東串良町 錦江町, 肝付町
八千代伝酒造	88	垂水市
JA鹿児島もつき	530	鹿屋市
合計	960	



八千代伝酒造実施状況

### (3) 健全苗の確保

#### ②鹿屋農業高校でのバイオ苗生産

令和4年度から実施

令和6年度実績 3,100本

令和7年度目標 4,500本

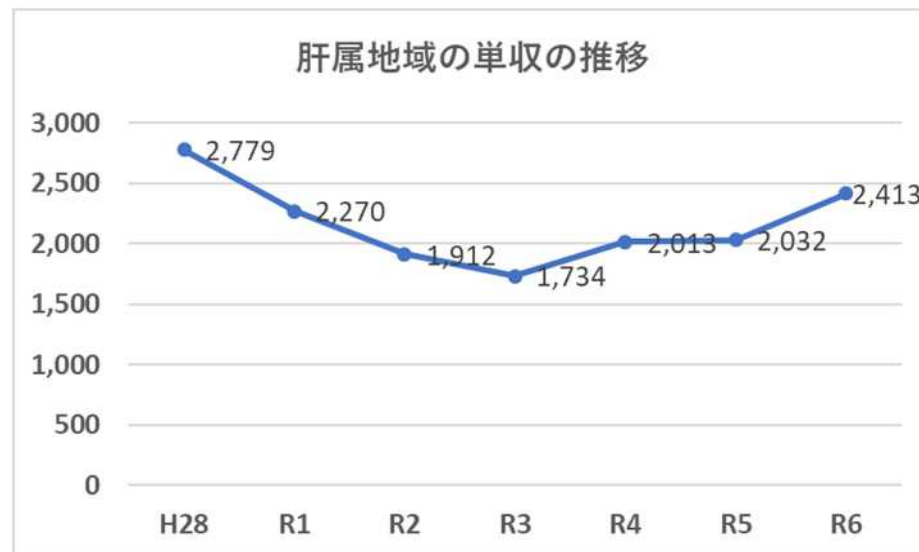
コガネガン	1,500本
こないしん	1,000本
みちしずく	600本



令和6年度引渡式

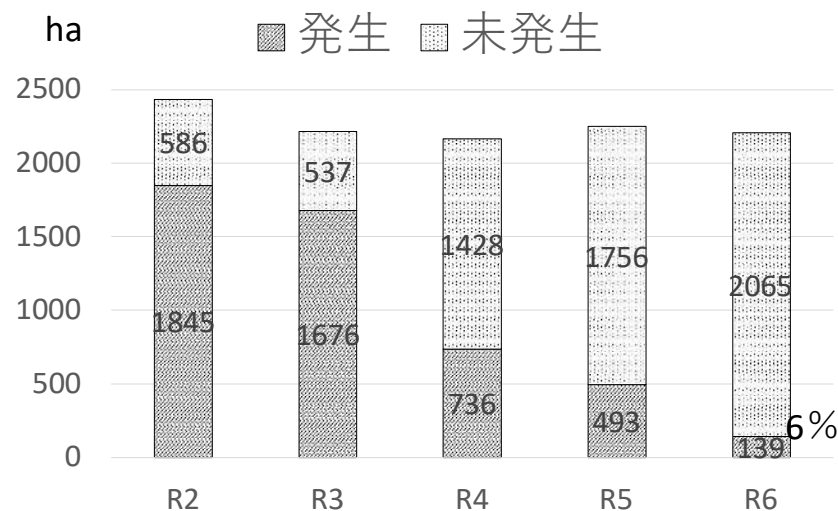
13

### 3 取り組んだ成果



15

### 3 取り組んだ成果



肝属地域のサツマイモ基腐病の発生面積

14

### 4 今後の課題

- (1) 3ない対策を気を緩めることなく実施する必要がある。
- (2) 健全苗の確保対策が必要である  
(蒸熱消毒処理の定着化)
- (3) 生育後半の防除の徹底を図る必要がある
- (4) 基腐病以外の塊根腐敗が発生している。

16

ご清聴ありがとうございました